

# 自発的教養科目の説明

## 自発的教養科目の目的

自発的教養科目は、学生の自律的・自発的で実践的な学習の機会を保障することによって、学生の皆さんが今後、さまざまな機会をとらえて自律的・自発的で実践的な経験ができるようになる後押しのために設けられています。

## 自発的教養科目の内容

「自発的教養（ボランティア活動）」と「自発的教養（自発的研究）」の2科目があります。いずれも、学内の教員の指導の下で、あらかじめ定められた活動（「自発的教養（ボランティア活動）」では「ボランティア活動」（表1）、「自発的教養（自発的研究）」では「自発的な研究」（表2））もしくは、定められた活動以外の自発的活動（専攻分野外の研究など）を行い、その活動実績が要件を満たせば、単位が認定されます。認定される単位は、30時間程度の活動で2単位、15時間程度の活動で1単位です。ただし、この時間数は一応の目安であり、個々の活動に応じて単位認定に必要な活動時間は異なることがあります。また、定められた活動以外の自発的活動を行う場合は、学期・年度を越えて加算することができます。（ある年度に15時間の活動を行い、その前の年度に15時間の活動をした場合、合計30時間の活動として申請することができます）

自発的教養科目の取得単位の上限は、各科目2単位の合計4単位です。

## 自発的教養科目の単位取得に必要な条件

自発的教養科目の単位取得のためには、いくつかの条件が必要な場合があります。例えば、「ボランティア活動」が「自発的教養（ボランティア活動）」として単位認定されるためには、テーマ別科目「ボランティア理論」の単位取得が必要になります。

（「ボランティア理論」の単位取得は、ボランティア活動の途中または終了後でも構いません。）

また、学外で行う活動で交通費などの経費は原則として自己負担となります。その他、各活動に必要な条件は下の表1～2の通りです。

## 自発的教養科目履修の手順

- ①興味を持った活動があったら、下の表の連絡先にある責任教員の先生に連絡を取って下さい。
- ②活動への参加が承認されたら責任教員の先生の指示に従い、活動をして下さい。
- ③活動を終わったら、「自発的教養活動証明書」および活動内容と活動から何を学んだかをレポートにまとめた「活動報告書」を責任教員の先生に提出して下さい。
- ④責任教員の先生は、「活動実績」と「活動報告書」を点検し、活動時間等や「活動報告書」が単位認定に足るものだと判断した場合、「自発的教養活動証明書」に署名・捺印します。
- ⑤責任教員から「自発的教養活動証明書」・「活動報告書」を受け取り、「自発的教養活動単位申し込み書」に必要事項を記載して、教務課の共通科目担当者に提出してください。
- ⑥提出の期限は前期・後期ともにCNSでお知らせします。
- ⑦提出された資料に基づき、「自発的教養科目部会」で総合的に判断して単位認定が行われます。  
(学生の皆さんは授業の申告をする必要がありません)。
- ⑧詳細につきましては、以下の各学部の自発的教養科目部会委員にお尋ね下さい。

教育人間科学部	岡林 春雄 (oka@yamanashi.ac.jp)
教育人間科学部	古屋 義博 (y-furuya@yamanashi.ac.jp)
医学部	宮澤 恵二 (kmiyazawa@yamanashi.ac.jp)
工学部	鈴木 猛康 (takeyasu@yamanashi.ac.jp)
生命環境学部	岩田 智也 (tiwata@yamanashi.ac.jp)

表1 ボランティア活動

テーマ・代表者	連絡先・説明	単位認定の条件	備考
☆野外活動体験プログラムにおけるボランティア ☆川村協平 （教育人間科学部）	川村 協平 <a href="mailto:kkyohei@yamanashi.ac.jp">kkyohei@yamanashi.ac.jp</a> 山梨幼児野外教育研究会で行う、夏休み幼児キャンプ（3泊4日）、小学生キャンプ（4泊5日）、春休み幼児雪の教室（3泊4日）、OB雪の教室（4泊5日）におけるリーダー活動。 子どもたちがキャンプ体験を通じて「自然や仲間そして自分自身」とより気持ちよく関われるようになってほしい、そのために必要なことは何かに気づいてほしいと願って行っている。	活動時間：30～40時間、活動内容によって異なる 2単位。	1. 「ボランティア理論」の履修 2. 活動中の宿泊費等実費は個人負担 3. 対人賠償を含む学生保険の加入 4. 大学で実施している健康診断で健康であること
☆スポーツ教室等におけるボランティア活動 ☆加藤朋之 （教育人間科学部）	加藤 朋之 <a href="mailto:tomo-kato@yamanashi.ac.jp">tomo-kato@yamanashi.ac.jp</a> 公開講座「エコールデゥスポーツ」での指導補助	活動時間：実習 30時間、2単位	1. 「ボランティア理論」の履修 2. 活動中の宿泊費等実費は個人負担 3. 対人賠償を含む学生保険の加入 4. 大学で実施している健康診断で健康であること
☆東日本大震災ボランティア活動 ☆阿部 茂 （教育人間科学部）	阿部 茂 <a href="mailto:abe@yamanashi.ac.jp">abe@yamanashi.ac.jp</a> 東日本大震災の復旧支援、被災者支援などのボランティア活動を通して、社会的貢献への期待に応えとともに、社会参加への視野を広げてほしい。	活動時間： 15時間で1単位、 30時間以上で2単位	1. 「ボランティア理論」の履修 2. 活動中の宿泊費等は自己負担 3. 対人賠償を含む学生保険への加入 4. 大学で実施している健康診断で健康であること 5. 活動は平成23年度中に なされたものに限る なお、単位認定の詳しい要件や留意事項については、平成23年7月22日付でCNSに掲載された「自発的教養科目（東日本大震災ボランティア）新設について」を参照

表2 自発的研究

テーマ・代表者	連絡先・説明	単位認定の条件	備考
☆フィールド調査実習 ☆竹内 智 (生命環境学部)	竹内 智 <a href="mailto:take@yamanashi.ac.jp">take@yamanashi.ac.jp</a> 科学についての興味を喚起し、勉学へのモチベーション維持を目的とし、他大学の公開実習等への参加など、専門の教育・研究に触れる機会を提供します。	実習・事後学習: 30 時間、1 単位 60 時間、2 単位	1. 活動中の交通費・宿泊費等は自己負担 2. 対人賠償を含む学生保険への加入 3. 事後学習(報告会等)は必修 4. 平成 26 年度活動から認定
☆資源循環型ものづくり実習 ☆竹内 智 (生命環境学部)	竹内 智 <a href="mailto:take@yamanashi.ac.jp">take@yamanashi.ac.jp</a> 新エネルギーとして注目されているバイオディーゼル燃料 (BDF) の精製、使用済み食用油の回収精製体験を通して、廃棄物のリサイクルや地球規模の環境問題を学習する。	実習、研究 : 30 時間以上、2 単位	別途案内する説明会でより詳しい説明を行う。
☆ロボコン ☆小谷信司・萩原親作・寺田英嗣 (工学部)	小谷 信司 (情報メディア工学学科) <a href="mailto:kotani@yamanashi.ac.jp">kotani@yamanashi.ac.jp</a> ロボコン参加に関わる技術研修、ロボットの開発、政策、大会参加	実習・講義 : 60 時間以上、2 単位	1. 参加人数は 10 名程度に制限 2. ノートパソコンなどは自己負担 3. 主な活動場所 : 工学部機械システム、電気電子システム工学科研究室
☆地域プロデュース・まちづくりに関わる実習 ☆石井信行 (工学部)	石井信行 (土木環境工学科) <a href="mailto:nobur32@yamanashi.ac.jp">nobur32@yamanashi.ac.jp</a> 環境学園都市甲府を将来像として掲げ、市民や行政とコラボレーションしながらプロジェクトを立案・実行する活動において、学生は主体的に関わりながら地域プロデュースやまちづくりについて学ぶ。活動状況はウェイブサイト ( <a href="http://www.cec.yamanashi.ac.jp/~nobupdlabo/">http://www.cec.yamanashi.ac.jp/~nobupdlabo/</a> ) で紹介している。	実習、研究 : 30 時間以上、2 単位	1. 活動中の宿泊費等実費は個人負担 2. 学生保険の加入

テーマ・代表者	連絡先・説明	単位認定の条件	備考
☆統合能力型高度技術者養成プロジェクト 「学大将」関連の実習 ☆垣尾省司 (工学部)	垣尾省司（電気電子工学科） <a href="mailto:kakio@yamanashi.ac.jp">kakio@yamanashi.ac.jp</a> 工学部が設定、運営する学大将プロジェクトのうち、マイハウスプランに属するキャリアハウス、ベンチャーハウスに登録された学生を対象としています。それぞれのハウスでの研究や起業活動を通じて、学生は技術者としての意欲と能力をいっそう伸ばします。活動内容はウェブサイト ( <a href="http://www.eng.yamanashi.ac.jp/risu/index.html">http://www.eng.yamanashi.ac.jp/risu/index.html</a> ) で紹介している。 具体的な単位認定の基準・手続きは各担当教員に確認してください	実習，研究：30 時間以上，2 単位	1. 参加者は活動中の交通費等実費の一部を個人負担する場合有り 2. 学生保険の加入